

瀬戸市ゼロカーボンシティ宣言

近年、地球温暖化に起因する気候の変動の影響により、世界各地で大規模な自然災害が頻発し、甚大な被害をもたらすなど、もはや単なる「気候変動」ではなく、私たち人類や全ての生き物にとっての生存基盤を揺るがす「気候危機」と言われる状況になっています。

2015年に合意されたパリ協定では、「世界的な平均気温上昇を1.5℃に抑える努力を追求する」という目標が掲げられました。また、2018年に公表されたIPCC（気候変動に関する政府間パネル）の特別報告書では、この目標の達成には「2050年までに世界全体の温室効果ガス排出量をほぼゼロにすることが必要」と示されています。

このような状況の中、本市は、「豊かな自然と、安全で快適な暮らしのある『環境創造都市』を次代につなぐ」を計画理念とする第3次瀬戸市環境基本計画に基づき、再生可能エネルギーの導入促進や省エネルギー行動の推進など、様々な環境施策に取り組んでまいりました。

加えて、2024年3月に策定した「瀬戸市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」に基づき、2030年度における温室効果ガス排出量を2013年度比50%削減することを目指して、温室効果ガス排出量の削減に向けた各種施策に取り組むこととしたところです。

本市は、将来にわたり本市の豊かな環境を次世代に引き継ぐため、「2050年までに温室効果ガス排出量実質ゼロ(カーボンニュートラル)」を目指し、市民・事業者の皆さまとともに脱炭素社会の実現に向けて取り組みを進めていくことをここに宣言します。

令和6年（2024年）3月29日

瀬戸市長

川本雅之



THE CITY OF CERAMICS
SETO, JAPAN

いゝもん
せともん